

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業計画書

1 施設名

横浜市左近山地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなっていくのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

担当地区である左近山においては、他の地域よりも先に今後もさらに高齢化が進んでいくことが予想されます。又、市沢においては古くから住まわれている世帯と新しく住まわれている世帯のコミュニケーションの難しさ等があります。そこで左近山地域ケアプラザとして最も必要なことは、身近な地域における個別の課題に対応する中で、さらにそれを地域におけるニーズとして、しっかりととらえ、事業として対応していくことだと考えています。今後も高齢者世帯の個別訪問や近隣住民、自治会、NPO、民生委員、医療機関、介護サービス事業所等との地域ネットワークを通じての情報収集による実態把握をさらに強めていきます。

又、自治会、民生委員や UR と協力して、高齢者の見守りネットワーク形成や引きこもり防止・虐待防止の為に個別訪問に取り組んでいきます。

さらに、既存の制度やサービスに留まらない新たな支援や住民がお互いに支え合う仕組みづくりが必要と考え、地域ケア会議や地域支え合いネットワーク等を通じて、その仕組みの取組を進めていきます。

認知症の予防はもちろん、地域の力でその生活を見守っていくようにすることなど、そのような取り組みの上で不可欠なボランティアの担い手の養成・発掘等を行います。

今後 UR 団地の積極的な子育て世代誘致も期待されている中、どの世代でも暮らしやすい地域を形成していくためにも子育て支援についてもこれまで以上に強化していきます。そのためにも継続した子育て支援のためのサロンの充実やこの地域に転入された家族がスムーズに地域に溶け込むことができる手助けとして子供会、地域の保育園や小学校等と協働した事業を行います。

また、障害のある子供達の実態把握に努め、継続的な支援を行い、障害のある方が将来にわたって地域で安心して暮らせる街づくりに貢献していきます。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

高齢者対象、子育て関連、障害者等の相談でも適切な情報提供を行っています。相談内容によっては各関係機関と連携をとった支援をするようにして、フットワークを軽くし、できる限り早い対応を心がけていきます。

(2) 各事業の連携

- 地域包括支援センターと地域活動交流・生活支援コーディネーターの5職種の特徴・役割を活かした連携・協働ができるように努め、地域情報や必要な個人情報の共有を行い、地域の特性や個人の状況に応じた支援を行っていきます。
- 自主事業については、各職種が把握している地域ニーズや地域住民が抱える個別の課題が反映できるように企画を行い、個々に合った事業を紹介するようにします。また、介護保険サービス以外で利用できるインフォーマルサービスがあれば、積極的につなげていくように努めていきます。
- 自主事業やボランティア育成においてはそれぞれが協働し、お互いが把握している情報を共有できる体制を持つための取り組みを進めます。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- 相談対応や地域からの問い合わせに対してご不便をかけない職員のローテーションを心がけ、毎日、地域活動交流部門・地域包括支援センター・居宅介護支援の各部署で最低1名以上が常に出勤する体制を取ります。また、生活支援コーディネーターは地域活動交流・地域包括支援センターと連携を図り地域への対応が滞らない様にします。
- 職員教育、職場環境、待遇の整備を常に心がけ、職員の能力向上、向上心の育成のため、全職員を対象とした研修を行います。研修内容は接遇を中心としたサービスマナー、感染症・食中毒予防、個人情報保護、普通救命講習等と多岐にわたっています。この他にも各部署で必要と考えられる外部研修も受講し専門性の向上に努めていきます。職員が研修を受講することで、常に自分自身を省み、質の高いサービスの提供を意識する事を狙いとし、福祉の専門家としての自覚も高めていくように努めます。また、地域ケアプラザの職員として公正・中立を第一に地域住民の皆様と接し、特定なかかわりを持たずに対応していきます。相談業務では、事業所一覧表やホームページを活用し、公平でありながら相談者が困らない対応を心がけていきます。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- 子育てに関して、区や子育て支援者会場の支援者や旭区地域子育て支援拠点ひなたぼっこの職員、左近山保育園保育士と貸館利用や事業を通して情報交換を行っています。その中から、各機関の特性を生かした事業（子育て支援事業）を開催・後方支援するほか、市沢地区の子育てサロンに参加し地域の子育て層の状況把握を行います。また、主任児童委員やボランティアとの情報交換も行います。
- 支えあいネットワークの活動や地域防災の繋がりなどをきっかけとし、近隣施設や事業所、関係団体と様々な場面においてより協働できる関係を築き、事業協力や相談対応等、ネットワークを通じた関係の広がりをさらに進めます。
- 左近山団地には独居、高齢者夫婦、空き家が多く、転居してきても近隣の付き合いができず、誰が暮らしているか把握もできない世帯が多くあります。特に高齢者世帯は住民の間で心配が多いため、自治会、階段委員、UR住宅と連携して、地域住民が中心になった見守りネットワーク形成を推し進め、安心して暮らせる街を目指します。

(5) 区行政との協働

- 地域福祉保健計画：市沢地区、左近山地区、それぞれの地区の支援チームメンバーとして、区、区社協と協力関係を密にし、三者それぞれの視点からの情報収集・提供を通して情報共有を行います。また、各地区に合わせた支援を担い協力して計画の推進に取り組みます。ケアプラザが地域との調整を行い、支援チームへ情報提供を行っています。そのためにも地域の集まり、行事に積極的に参加し情報収集を行うと共に、日々の業務を通して地域の方との個々人との関係性を深めるよう努めます。支援チーム会議では各視点からの情報をすり合わせ、地域の特性を踏まえた多面的な検討を行い、地域へ適切な支援が行えるよう取り組んでいます。
- 市沢地区の各分科会の定例会などに参加し、また分科会から発足した事業へも参加しています。分科会開催前後で、連合町内会会長や各分科会の長との調整や事務局としての支援を行い、計画の推進が円滑に進むよう努めます。
- 左近山地区では、地域福祉保健計画の年間事業（ウォーキング、団地祭、スタンプラリー）を企画する運営委員や実行委員の話し合いに事務局として参加し、全ての事業の推進や協力を行います。支援チームの会議の中で行政から大規模団地再生モデル事業の取り組みや、URなどの組織的な地域への取り組みといった区が把握している情報提供を受けることもあり、その都度、5職種が把握している地域情報を共有し、地域に合った取り組みに発展するよう、地域と区行政を繋ぐケアプラザとしての役割を担っています。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- 地域に住む方の様子、日頃の関わり合いや会話からニーズを拾い、地域に合わせた事業の企画を行います。また、自主的活動につながるよう支援します。
- 妊娠中から小学生まで、対象者の各年齢や保護者に合った子育て事業を企画し、一貫してケアプラザに関わるような事業展開を行います。
- 障害の対象者に合った事業を展開し、活動の場、交流の場を広げます。
- 参加者の年齢や状況に合わせ、常に既存事業内容を検討し充実を図ります。
- 多世代間で交流が持てる事業を企画します。
- 地域資源を活用した事業を企画します。
- 地域活動を活発にする為に地域の人材を発掘し、事業の指導者やリーダーとして活躍できる仕組みづくりを進めます。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- 団体の活動の状況把握に努め、効率よく貸館を利用して頂けるよう団体に合った利用方法を勧め、多くの団体の活動に繋がるよう必要な調整を行います。
- 活動を活発に行って頂けるよう、部屋の空き情報や予約しやすい時間帯などの情報を発信します。
- 地域ケアプラザが持つ目的を理解してもらい、各団体の活動がより発展するよう努めます。
- 広報誌や施設内外の事業や集まりにおいて、3階貸館の紹介や利用方法、活動の場の情報提供や必要と思われる自主事業の紹介を行います。
- 登録利用団体を対象とした貸館方法の説明会を実施します。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- 事業の企画と併せてボランティアの募集を行い、その後の活動へ繋げられるような関係づくり、活動の場を提供します。
- 地域に住む方との日頃の関わり合いや会話から担い手を発掘し、ニーズに合った活動に繋げるよう、地域や自主事業でのボランティア活動の場の情報提供、仲介を行います。
- 常時ボランティアの受け入れ体制を整え、またボランティア活動の場となる自主事業を企画し、活動の場を提供します。
- ボランティアの育成に繋がる事業を企画し、ボランティアの基礎知識を身に着けた人材育成に繋がります。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- 毎月発行する広報誌で自主事業の紹介、ボランティア活動(募包含む)や活動団体の紹介、地域事業の情報を掲載しています。
- 自主事業紹介、登録団体の活動紹介、メンバー募集等の情報を施設内掲示にて行っています。
- 自主事業や活動団体、ボランティア等の問い合わせに対し、相談者のニーズに合わせた情報提供、仲介を行っています。
- 地域の昼食会や老人会、子育て支援関連会場などの場へ参加し、福祉保健活動へ積極的に関わりを持つよう努め、各種情報の収集・発信・提供を行います。
- 地域の状況をより身近に知るために、地域の事業(防災訓練、祭り、行事等)に積極的に参加し、情報の収集・発信・提供を行います。
又、幼児の虐待についても行政・関係機関と協力しネットワークを構築しています。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- 区役所、区社協、ケアプラザ内、自治会等の地域の方と密に情報共有を行っています。
- 事業実施に向けて、地域の方には現状をよく知っていただく必要があるため日頃から旭区や地域の高齢化率等や今後の見解などを伝えていきます。
- 老人会、民児協、交流拠点(ほっとさこんやま・あんさんぶる)等にも出向いて地域の方と接することで生活支援体制整備事業を理解していただき、事業実施に向けて取り組んでいきます。
- 5職種でも日頃から情報共有を行い、協力しながら進めていきます。

(2) 地域アセスメント(ニーズ・資源の把握・分析)

- ケアプラザまで距離のある市沢地区で、交流の場が必要というニーズの把握により、屋外でのサロン活動を地域と協力し立ち上げられるよう取り組んでいきます。
- 地域のニーズを広く把握するために住民向けアンケートの実施を地域包括支援センター及び地域活動交流と検討します。
- 左近山地区では引き続き、左近山おでかけワゴンの活動を支援していきます。利用者や地域住民の声を聞き、使いやすい地域資源として左近山の外出支援につながるよう多職種連携をしていきます。
- 月に一度のKTSも引き続き行っていきます。職員に頼ることが少なくなるよう住民主体の活動に向けて理解してもらうことや、他の活動にも担い手として社会参加でき、生きがいを感じられる取り組みをしていきます。

(3) 連携・協議の場

- 地域ケア会議から協議体になった「移動支援プロジェクト」を引き続き行っていきます。29年に移動支援プロジェクトから左近山おでかけワゴンが開始したのと同時にボランティアのみの会議を立ち上げました。毎月のボランティア会議には生活支援コーディネーターも参加しています。30年度も継続して、会議の内容やボランティアの意見等、状況を把握していきます。
- CHCの毎月の定例会に参加し、他地区の団体や地域包括支援センターからの情報提供をしていきます。
- 一般社団法人おもいやりネットワークがサービスBの登録団体になったことで地域に理解してもらうことや活動を周知できるように協議する場を設けるように進めていきます。
- 日頃からケアプラザ内で所長をはじめ、地域包括支援センター、地域活動交流と連携を取り、地域支援をしていきます。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

区役所・区社協・他のケアプラザ等と情報共有することや、連絡会・研修に出席することでより広域の地域課題について把握し、担当地域の課題と関連付けて認識していきます。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

- 地域のニーズを様々な視点から発見できるように、サービス事業者や民生委員、自治会、老人会、診療所や薬局等の医療機関へ定期的に出席・訪問を行い、情報収集を行いその場での相談に応じることで迅速な対応を行います。訪問の際には地域包括支援センターについての理解を深めていただけるよう説明を行っていきます。
- 生活支援体制整備事業・地域活動交流等他部署と協働し既存の地域資源や地域住民の情報共有（データベースシステム ayamu の活用）を行うと共に、地域支えあい事業を通じた事業協力を行うなかで相談・支援・介護予防につながるようお互いが情報提供を行う場を構築します。
- 地域の関係機関・事業所間の連携が取れるような連絡会を行っていきます。

②実態把握

- 自治会、老人会、食事会、民生委員児童委員協議会に定期的に出席し、自治会、民生委員等、近隣住民、地域の診療所・病院からの情報提供を得ることで地域のニーズや地域資源を把握し、見守り事業を通じ民生委員と同行して継続した取り組みを進めていきます。また、インターネットや資料を活用して地域のデータを収集し、左近山、市沢地区の最新状況を確認します。
- ケアプラザ事業や地域活動に参加した際にアンケート調査を行うことで、住民個人及び地域のニーズの把握を行っていきます。

③総合相談支援

- 受けた相談は1件ずつ相談票にまとめ、相談を受けた者が中心になり対応し、地域包括支援センター職員全員で把握し、問い合わせに対応します。相談内容に応じて介護保険サービスや、地域資源、介護予防教室など、必要と思われる事業や制度をわかり易く説明すると共に、利用しやすくするために手続きを代行する等、複雑な作業を一つずつ丁寧に進めていきます。
- 対応した相談は、支援が安定するまではその後を追い、状況の経過を確認していきます。支援開始後も当事者や関係機関から定期的に情報収集を行い、その効果についての評価を行います。対応が進まない相談ケースはファイルにまとめ、定期的に連絡し継続的にフォローしていきます。
- 相談は高齢者に限定せず、障害者等の相談にも状況に応じて情報提供を行い、他福祉事業所との連携・協働に努めました。定期的な訪問や電話確認を行い柔軟で迅速な対応を実施していきます。
- 日常の相談業務から得た情報をもとに既存の介護予防教室や事業等の情報提供を行うと同時に、潜在的ニーズを把握し地域の各関係機関と協働することで新しい事業展開を検討していきます。
- 支援の対象者が独居で認知症の症状がある場合には、地域住民の協力を得ながら継続的な見守りを行い、緊急時の場合には民生委員やサービス事業所等と協力しながら対応をしていきます。
- 各自治会の夏祭りやケアプラザ祭で相談窓口を開き、地域ケアプラザと地域包括支援センターの役割をアピールします。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- 司法の専門家による地域住民向けの成年後見・相続・遺言に関する講演会をケアプラザにて企画し実施していきます。また、個別相談の時間及び個別相談ブースを設けることで、専門家に直接話を聞くことのできる機会を作り、将来について考えるきっかけとなるような取り組みを行っていきます。
- 成年後見制度や消費者被害のチラシを来館者・老人会・事業参加者等に配布することで制度の普及啓発及び被害の情報提供・注意喚起を行い、同時に地域包括支援センターが各制度の窓口である事を知ってもらうよう努めていきます。
- 成年後見制度の利用が必要と思われるケースについて、本人・ケアマネジャー・区・各機関と連携を取り、担当者会議開催によるアセスメントから各機関と情報共有を行うことで制度利用（区長申立てや司法の専門家との連携）に向けた準備を整えていきます。

②高齢者虐待への対応

- 権利侵害・虐待への対応については区と連携し、民生委員・ケアマネジャー・医療機関等の関係機関から情報を集め、ネットワークを組み迅速な対応を実施していきます。
- 自治会・老人会・介護予防事業等の集まりに参加及び同席し、虐待防止についての普及啓発活動を継続していきます。
- 介護者同士・特に認知症の介護者同士が理解し合える場として家族会での外出を企画し、虐待の恐れのある介護者とのつながりを保つようにして、虐待防止に取り組んでいきます。
- 虐待につながる恐れやその事実がある場合、地域の関係者や旭区福祉保健センター、居宅介護支援事業所等と協議を重ね情報共有をし、その介護者への制度・介護サービスの説明等を通して本人にとって最善の支援に繋げていきます。緊急性のあるケースでは、迅速に緊急ショートステイを活用する等、行政と連携して支援を行います。

③認知症

- 認知症予防を図っている教室やサークルのボランティアと連携することで活動支援を行い、地域における認知症の理解促進を目指した講演会等をケアプラザや地域の集会場で行います。
- あさがお協力隊やひまわりの会と協働し地域住民・各事業所を対象とした認知症サポーター養成講座を行うことで、地域の福祉事業所・民生委員・ボランティアの方を含む、広く地域住民の方へ普及啓発及び地域資源の周知を行います。
- 認知症の疑いがあるケースにおいて、医療機関への受診や支援に対して拒否がある場合、認知症初期集中支援チーム等と連携し状況把握を行うと共に支援に繋げるようにしていきます。
- 介護者が悩みを話し、介護者同士がお互いに学び支え合える介護者家族の集いを行います。対象者は介護者家族に限定せず、将来の介護に不安を持つ方々も参加できるようにして介護の息抜きや不安の解消に役立つ会にしていきます。安心して過ごせる居場所づくりはもちろん、ストレス発散にもなるよう出かける機会を作り、皆が楽しめる集いを行います。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- 民生委員児童委員とケアマネジャーの交流会を行い、連携を図りネットワークを構築します。(1回/年)
- ケアマネジャーの連携支援を目的にケアマネジャー連絡会を鶴ヶ峰、白根地域包括支援センターと協働して実施します。
- 地域包括支援センター3職種職員の顔写真つき案内カードを相談者に配布し、自宅に置いてもらいます。他の関係機関(民生委員やケアマネジャー)は相談者が地域包括支援センターと関わりがあることがわかるため、連携が取りやすくなります。
- 左近山地域ケアプラザエリア近辺の地域密着型事業所の連絡会を開催します。
- 生活支援コーディネーターとマップの作成・更新作業を行い、ケアマネジャーにとって必要な情報を含めてケアマネジャーの相談に活用します。
- 地域で行われている見守り活動に関わり協力していきます。また、地域のつながりを作るために行われているあいさつ運動にも参加していきます。
- 一部の自治会で検討され民生委員と協働して行っている「すべての住民の状況把握」に引き続き参加し、民生委員が担当するエリアの高齢者を中心に住民すべての状況

を把握する為に訪問を行い、確認できない場合等段階を追って地域包括支援センターが訪問し状況把握に協力する体制が稼働されるように協議を継続し、システム構築を目指します。

- 地域のニーズを広く把握するために住民向けの地域アンケートの実施を生活支援コーディネーター、地域活動交流と検討します。
- 各地区での食事会に参加するときに、制度やサービス等の情報を参加者の皆さんに提供し、老人会や自治会等へも日常生活支援・総合事業や介護保険の啓蒙を行います。

②医療・介護の連携推進支援

- 旭区在宅医療連携室及び区と協働して、近隣の医療機関や訪問看護ステーション、病院の地域連携室、薬局、ケアマネジャーを対象にした、地域包括支援連絡会を開催し、医療機関を中心にした多職種連携を継続して行います（年に1回）。
- 地域の医療関係事業所、居宅介護支援事業所等を適宜訪問し、ネットワーク構築と連携を図ります。
- 地域住民の中で介護支援が必要にもかかわらず支援につながらず、医療に関する相談が必要な時は、協力医に相談し地域住民のための医療連携を図ります。

③ケアマネジャー支援

- 鶴ヶ峰地域包括支援センター及び白根地域包括支援センターとの共催で、ケアマネジャー同士の連携支援及びスキルアップを目的とした勉強会を鶴ヶ峰・白根地域ケアプラザとの合同ケアマネジャー連絡会の中で開催します。（5回／年）
その中で、ケアマネジャー業務の振り返りや多方面の制度について学べる機会を設ける予定です。旭区在宅医療相談室とも連携し医療連携に関する事例検討も実施します。
- ケアマネジャー支援として、旭ケアマネットに区内地域包括支援センターの主任ケアマネジャーが参加します。また、エリア内の居宅介護支援事業所を訪問し、情報提供等を行いながら、日頃から地域包括支援センターに相談しやすい環境をつくります。
- ケアマネジャーからの相談に随時対応し、困難事例（精神疾患等の家族と同居など）の相談や介護保険サービスにつながらない支援困難ケースに対応します。困難事例については、サービス担当者会議の開催を支援し、スーパーバイズの機会を設けます。ケースによっては事例検討や個別ケース地域ケア会議につなぎ、行政や関係機関との連携、緊急対応時の検討支援も行います。
- インフォーマルサービスや元気づくりマップを活用して情報提供を行います。
- 新任の就労予定ケアマネジャーへの支援については、旭区内地域包括支援センター主催の研修を年に2回開催予定です。研修では、横浜市の介護保険外のサービスの制度説明、地域包括支援センターや権利擁護の説明と、その後施設見学と個別実習を行います。
- 旭区内主任ケアマネジャー分科会で、主任ケアマネジャー資格取得者を対象にした連絡会を開催し、事業所での人材育成等の情報交換を行い、スキルアップにつなげます。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

地域の情報を得て、円滑な関係性を築くために定期的に民生委員児童委員協議会に参加したり、自治会、老人会、高齢者食事会、診療所、クリニック、薬局、サービス事業所等へ訪問して関係づくりを行うなど、ネットワークを構築します。

また、定期的な医療連携のための連絡会の実施、3か月毎の個別ケースの地域ケア会議の開催を予定しています。包括レベルの地域ケア会議としては、地域性を鑑み、地区ごとの地域ケア会議を実施する予定です。個別ケースの地域ケア会議には、ケースに関わる関係者、近隣住民等と多職種の専門性を交え、あらゆる視点からの支援を検討します。個別ケースから抽出される課題を積み重ね、地域課題を見出し、生活支援コーディネーターと協力

して地域課題の解決にむけて地域資源開発や地域づくりに努力します。

また、地域支えあいネットワークの事業を通じて地域と関わりを持つことで自治会関係者や地域の事業所等との関係強化と情報提供を行います。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

○サービス利用者様の希望や思いを伺いながら、今後ご自分がどのようになりたいか等意欲を引き出すように双方で話し合っって目標を設定していきます。現在の生活がどのようにしたら維持または向上が出来るのかを意識していただき、目標に向かって進めるように努めていきます。

○サービスの利用に関しては、ご本人の意志を尊重しながら、自立につながるように情報提供し支援に繋げていきます。

○プランには、サービス以外でも日常を活発に活動していただく目的で、地域包括支援センターで立ち上げた体操教室などを紹介して実際に体験していただき、盛り込むようにしていきます。

○委託の方について、担当ケアマネジャーに地域包括支援センターの事業を紹介したり見学して頂くことで地域情報を提供し、地域包括支援センター職員が参加できるサービス担当者会議では利用者様にも事業を紹介しています。地域の方と交流を持つきっかけ作りとして、情報提供を行っています。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

○介護予防普及啓発として、地域住民に参加を呼び掛けて健康講座を8回実施していきます。

○地域の集会やサロンに出向いて、高齢者の皆さまにいつまでもお元気に生活していただくことを願い、地域住民の健康に関する意識向上に向けて介護予防に関する話をさせていただきます。

○左近山地区は高齢化率が高くなり、過去に作った介護予防体操教室など高齢に伴い体調を崩す方などが出て、会の運営が困難になっている教室もあります。新規参加者を募ったり虚弱な高齢者でも活動できるように講師と話し合ったり、継続して参加して楽しく身体を動かすことが出来るようにしていきます。また住民が主体になって運営が出来るように地域包括支援センターが見守っていきます。

○地域高齢者が少しでも地域との関わりが持てるように、また閉じこもり傾向のある高齢者が少しでも外出する機会が増やせるようにしていきます。地域住民の方に関心を持っていただけるような事業内容にしてご紹介し、参加を呼び掛けていきます。

その他

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

特に利用者がよく利用する自動ドアやエレベーターの安全管理に重点を置き、常に快適に利用出来る配慮を怠らないようにし、その他の空調設備、消防設備も同様に安全管理を行っています。

又、職員では行き届かない所に関しては、専門業者に依頼して定期的に管理します。施設内は、いつも不特定多数の地域の方が利用する為、使用の仕方によっては不具合が生じることがあります、利用者が怪我をしないよう、不具合箇所を職員が発見した時は速やかに報告し、修繕することを周知徹底しています。

また、職員は自主事業等で部屋を出入りする時も、部屋の内部の不具合等に特に注意し、破損や安全性に欠けるところがないか常に施設内をチェックするよう心掛けています。定期の時間で各階トイレのゴミの収集や戸締りの確認を行っています。ここでも利用後の部屋チェックを欠かさないようにします。その為、ケアプラザでは毎日二重三重のチェックを行い、いつでも快適に利用できるように、不具合を発見できる体制を整えています。

イ 効率的な運営への取組について

電気ガス水道等の資源に関する節約の意識をもつよう、毎月の使用料及び金額を職員へ周知し、朝・夕のミーティングにて啓発を行っています。

来館者へも掲示や口頭、説明会などで、節電・節水の呼びかけを行っています。消耗品等については無駄が生じないように日々徹底し、在庫の確認から使用における取り扱いに注意を払うよう指導を行い、職員への意識付けを行っています。

ウ 苦情受付体制について

日頃の業務の中で、利用者からの要望や苦情を聞く姿勢で対応し、職員間で情報を共有しています。地域の方の意見を広く聞く為に、受付に意見箱を設置しています。また、各事業のアンケートを実施し、利用者のニーズを把握する事に努めています。アンケート等の結果については広報誌を通じて広く住民にお知らせをしています。

サービスに対しての苦情は、適切に対応し、円滑・円満に解決する為相談員の心構え及び留意事項を苦情処理マニュアルに定めています。また、苦情受付担当者を明確にするためにも利用者からの苦情受付処理、苦情受付者、苦情解決体制図を張り出し、利用者にとってわかりやすい環境を継続して実施します。また、第三者委員会を設置し、早期の不満解消・苦情解決に助言をいただける様、受けた苦情の報告を行い、迅速な解決に向けて行動するように努めています。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

防災については、ケアプラザ内で防災委員会を立ち上げ、訓練の内容を検討し年に3回実施します。又、備蓄についてもチェックを行っています。

大災害が発生した場合に行政からの要請で福祉避難所を開設し避難者を受け入れるほか、直接ケアプラザに避難される地域住民への対応ができるように訓練を行っています。

日常的な防犯については、不特定多数が出入りするケアプラザにおいて、全ての人に挨拶を心掛け、不審者が入りづらい環境を作っています。また貴重品や個人情報ファイルは、利用者の目に触れないよう保管庫に収納し、扉には鍵を必ずかけるように徹底しています。

オ 事故防止への取組について

事故防止については、職員一人一人が事故防止マニュアルを熟知し、事故を起こさない対応、事故を未然に防ぐ事を心掛けています。

法人内又は、他施設での事故についても内容を回覧して注意喚起しています。事故防止委員会主催による研修を、職員全員を対象として開催し、情報の共有、再発防止に努め、万が一事故が発生した場合は、災害発生レベルと同等の扱いとし、事故対応マニュアルに沿って迅速な対応を行っています。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

横浜市個人情報の保護に関する条例の重要性を理解した上で、適正な取り扱いに努めています。

ケアプラザ内では適正な管理を行うよう個人情報保護マニュアルを整備し、職員への周知徹底を行っています。

また、個人情報保護やプライバシー保護についての勉強会を法人全体で毎年実施し他施設やニュースなどの事例を参考に共通認識を高めています。

キ 情報公開への取組について

情報公開については、法人全事業所の事業計画・事業報告をケアプラザ情報コーナーに配置しています。またホームページからも確認することが出来るよう、常に更新しています。

毎月発行する広報紙にて各種イベントや活動案内等を掲載して、関係機関、自治会町内会掲示板、回覧板を通じ情報の公開を行っています。

ク 人権啓発への取組について

『人は生まれながらにして平等の人権を有し、互いに人権を尊重する』事をモットーとして、全職員を対象とした年2回の『サービスマナー研修』において、人権啓発を内容に取り入れ、考えるきっかけ・行動するきっかけにしています。

特に、地域で活動する地域活動交流事業や地域包括支援センター運営事業・生活支援体制整備事業の職員では、言葉や態度・対応に差別的な事がないかを管理者が定期的にチェックを行います。今後もケアプラザ内では、差別的な発言が起こらないよう、職員同士の言葉使いに気を付け、お互いに注意できる環境づくりを継続して行います。

ケ 環境等への配慮及び取組について

ヨコハマ3R夢（スリム）プランについて、職員は分別表に従い厳格に分けて捨てる事に取り組んでいます。特にプラスチック容器は、汚れたまま燃えるごみに捨てるのではなく、洗ってプラスチックごみとして出すよう心掛け、ゴミを燃やして発生する温室効果ガスを増やさないよう努めています。

また、出来るだけ使い捨ての物を使わないよう、職員一人一人が日常的に心掛けています。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

看護師 1名、社会福祉士 2名、主任ケアマネジャー 1名（以上、地域包括支援センターとの兼務）、介護予防支援専門員 1名

《目標》

それぞれの専門性を活かしながら、3職種と介護予防支援専門員が連携しながら介護予防支援業務に取り組む。また、要支援者のみならず、要支援・要介護の非該当者までの連続的で一貫したケアマネジメントを実施する。
事業対象者と要支援者に対してサービス B を活用した自立支援にむけたマネジメントも行っていく。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●通常のサービス提供地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費（実費）の負担をお願いします。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

住み慣れた地域で暮らしていくために、地域資源も活用した総合的なケアマネジメントを行っていきます。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
200	200	200	200	200	200
10月	11月	12月	1月	2月	3月
200	200	200	200	200	200

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- ・ 管理者 1名（常勤兼務）
- ・ 介護支援専門員 2名（常勤専従1名 非常勤専従1名）

《目標》

- ・ ご利用者様が可能な限り、住み慣れた地域において自分らしい生活を継続する為利用者への選択、自立支援、在宅生活の継続を目指し、適切な居宅サービスが利用出来るよう、公正中立な立場で支援をしていきます。
- ・ 運営基準に従い各関係機関と連携を密に取り、住み慣れた地域でご本人様、ご家族様が安心して生活が出来るように支援をしていきます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 通常のサービス地域を越える地域に訪問、出張する必要がある場合は、その旅費（実費）の負担をお願いします。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 地域包括支援センターが併設されているため、地域に根ざした居宅介護支援を継続的に行っていきます。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
98	98	98	98	98	98
10月	11月	12月	1月	2月	3月
98	98	98	98	98	98

● 通所介護

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 食事
- 個別機能訓練

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分	638円	2割負担分	1,276円
（要介護1）	638円		1,276円
（要介護2）	754円		1,508円
（要介護3）	873円		1,746円
（要介護4）	993円		1,986円
（要介護5）	1,113円		2,226円
● 食費負担	900円（おやつ代含む）		
● 入浴	54円		108円
● 個別機能訓練Ⅱ	60円		120円
● サービス提供体制加算Ⅱ	7円		13円
● 口腔機能向上加算	161円		322円
● 生活機能向上連携加算	108円		215円
● 処遇改善加算Ⅰ	（ひと月あたりに利用した総単位数に5.9%を掛けます。）		

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 9:30 ~ 16:30

《職員体制》

- ・ 管理者 1名
- ・ 相談員 2名（常勤専従1名・常勤兼務1名）
- ・ 介護員 15名（常勤兼務1名含む）
- ・ 看護師 4名（機能訓練指導員兼務4名）
- ・ 機能訓練指導員 4名（看護師兼務4名）
- ・ 運転手 6名

《目標》

介護保険などの関係法令に従い、利用者に対し可能な限り居宅において、その有する能力に応じて、自立した日常生活を営む事が出来る様に通所介護サービスを提供する。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

個別機能訓練の他に、在宅生活を継続して頂くために生活支援プログラムを実施しています。

《利用者目標（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
881	898	894	888	832	827
10月	11月	12月	1月	2月	3月
874	888	901	844	852	907

● 介護予防通所介護・第1号通所事業

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 食事
- 個別機能訓練

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分		2割負担分
(事業対象者)	対象者なし	
(要支援1)	1, 766円	3, 531円
(要支援2)	3, 621円	7, 241円
●食費負担	900円(おやつ代含む)	
●運動機能向上加算	242円	483円
●処遇改善加算Ⅰ	(ひと月あたりに利用した総単位数に5.9%を掛けます。)	
●サービス提供体制加算Ⅱ		
(要支援1)	26円	52円
(要支援Ⅱ)	52円	104円

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 9:30 ~ 16:30

《職員体制》

- ・管理者 1名
- ・相談員 2名(常勤専従1名・常勤兼務1名)
- ・介護員 15名(常勤兼務1名含む)
- ・看護師 4名(機能訓練指導員兼務4名)
- ・機能訓練指導員 4名(看護師兼務4名)
- ・運転手 6名

《目標》

介護保険などの関係法令に従い、利用者に対し可能な限り居宅において、その有する能力に応じて、自立した日常生活を営む事が出来る様に予防通所介護サービスを提供する。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

個別機能訓練の他に、在宅生活を継続して頂くために生活支援プログラムを実施しています。

《利用者目標(契約者数)》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
106	120	135	149	142	142
10月	11月	12月	1月	2月	3月
146	149	134	120	113	138

平成30年度「横浜市左近山地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)＜地域活動＞

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	14,604,000		14,604,000		14,604,000	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当 事業	0		0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0		0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	この列は入力しない
駐車場利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
その他(指定管理料充当)	0		0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,990,000		3,990,000		3,990,000	
その他(提案時控除 法人負担分)			0	0	0	
収入合計	18,594,000	0	18,594,000	0	18,594,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	9,250,000		9,250,000	0	9,250,000	
本俸	6,264,238		6,264,238	0	6,264,238	
社会保険料	690,272		690,272	0	690,272	
手当計	2,141,248		2,141,248	0	2,141,248	
健康診断費	64,826		64,826	0	64,826	
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	ママふりしんご
退職給付引当金繰入額	89,416		89,416	0	89,416	
その他			0	0	0	
事務費	1,946,000		1,946,000	0	1,946,000	
旅費	28,540		28,540	0	28,540	
消耗品費	1,006,499		1,006,499	0	1,006,499	
会議随費			0	0	0	
印刷製本費	245,040		245,040	0	245,040	
通信費	302,236		302,236	0	302,236	
使用料及び賃借料	4,200		4,200	0	4,200	
横浜市への支払分	4,200		4,200	0	4,200	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	68,212		68,212	0	68,212	
職員等研修費			0	0	0	
振込手数料	15,647		15,647	0	15,647	
リース料			0	0	0	
手数料			0	0	0	
地域協力費			0	0	0	
その他	275,626		275,626	0	275,626	
事業費	222,000		222,000	0	222,000	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	予算・指定額
指定管理料充当 事業	180,000		180,000	0	180,000	
管理費	6,436,000		6,436,000	0	6,436,000	
建築物・建築設備点検			0	0	0	予算・指定額
光熱水費	4,191,579		4,191,579	0	4,191,579	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	この列は入力しない
水道料金			0	0	0	
清掃費	514,848		514,848	0	514,848	
修繕費	474,000		474,000	0	474,000	予算・指定額
機械整備費	123,270		123,270	0	123,270	
設備保全費	862,436		862,436	0	862,436	
空調衛生設備保守	280,190		280,190	0	280,190	
消防設備保守	46,088		46,088	0	46,088	
電気設備保守	361,803		361,803	0	361,803	
害虫駆除清掃保守	7,775		7,775	0	7,775	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	166,580		166,580	0	166,580	
共益費			0	0	0	
その他	269,867		269,867	0	269,867	
公租公課	740,000	0	740,000	0	740,000	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	740,000		740,000	0	740,000	
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
ニーズ対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	18,594,000	0	18,594,000	0	18,594,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入	180,000		180,000	0	180,000	
自主事業費支出	180,000		180,000	0	180,000	
自主事業収支	0	0	0	0	0	→自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「横浜市左近山地域ケアプラザ」

収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	28,819,000		28,819,000		28,819,000	横浜市より
指定管理料(介護予防)	145,000		145,000		145,000	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より
利用料金収入			0		0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0		0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0		0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0		0	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0		0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当事業)	0		0		0	
その他(提案時控除 法人負担分)			0		0	
収入合計	34,753,000	0	34,753,000	0	34,753,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	31,103,000	0	31,103,000	0	31,103,000	
本俸	16,066,612		16,066,612		16,066,612	
社会保険料	3,682,973		3,682,973		3,682,973	
手当計	10,676,879		10,676,879		10,676,879	
健康診断費	234,418		234,418		234,418	
勤労者福祉共済掛金			0		0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	442,118		442,118		442,118	
その他			0		0	
事務費	775,000	0	775,000	0	775,000	
旅費	26,837		26,837		26,837	
消耗品費	261,381		261,381		261,381	
会議随費			0		0	
印刷製本費	117,755		117,755		117,755	
通信費	221,412		221,412		221,412	
使用料及び賃借料	4,200	0	4,200	0	4,200	
横浜市への支払分	4,200		4,200		4,200	
その他	0		0	0	0	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険			0		0	
職員等研修費			0		0	
振込手数料	28,034		28,034		28,034	
リース料			0		0	
手数料			0		0	
地域協力費			0		0	
その他	115,381		115,381		115,381	
事業費	1,164,000	0	1,164,000	0	1,164,000	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	80,000		80,000		80,000	
指定管理料充当自主事業(介護予防)	145,000		145,000		145,000	
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000		309,000	予算:指定額
管理費	1,711,000	0	1,711,000	0	1,711,000	
建築物・建築設備点検			0		0	予算:指定額
光熱水費	1,114,343	0	1,114,343		1,114,343	
電気料金			0		0	
ガス料金			0		0	この列は入力しない
水道料金			0		0	
清掃費	136,868		136,868		136,868	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算:指定額
機械警備費	32,770		32,770		32,770	
設備保全費	229,273	0	229,273	0	229,273	
空調衛生設備保守	74,486		74,486		74,486	
消防設備保守	12,252		12,252		12,252	
電気設備保守	96,183		96,183		96,183	
害虫駆除清掃保守	2,067		2,067		2,067	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	44,285		44,285		44,285	
共益費			0		0	
その他	71,746		71,746		71,746	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他()			0		0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当施設設分			0		0	
二一ス対応費			0		0	
支出合計	34,753,000	0	34,753,000	0	34,753,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入	0					
自主事業費支出	0					
自主事業収支	0			0		→自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入				0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出				0		使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支				0		

平成 30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 横浜市左近山地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日
(単位: 千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護			
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	
収入	介護保険収入	6,600,000		6,600,000	19,500,000		19,500,000	95,082,200		95,082,200	10,967,800		10,967,800	
	その他	0	0	0	0	0	0	3,500,000	0	3,500,000	0	0	0	
	介護予防ケアマネジメント費			0			0			0			0	
	事業・負担金収入			0			0			0			0	
				0			0			0			0	
				0			0			0			0	
				0			0			0			0	
				0			0			0			0	
				0			0		3,500,000		3,500,000			0
		収入合計(A)	6,600,000	0	6,600,000	19,500,000		19,500,000	98,582,200		98,582,200	10,967,800	0	10,967,800
支出	人件費	4,413,000		4,413,000	13,038,000		13,038,000	63,573,000		63,573,000	7,333,000		7,333,000	
	事務費	811,000		811,000	2,398,000		2,398,000	11,691,000		11,691,000	1,349,000		1,349,000	
	事業費	642,000		642,000	1,896,000		1,896,000	9,243,000		9,243,000	1,066,000		1,066,000	
	管理費	363,000		363,000	1,073,000		1,073,000	5,233,000		5,233,000	604,000		604,000	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	利用者負担軽減額			0			0			0			0	
	消費税			0			0			0			0	
	介護予防プラン委託料			0			0			0			0	
				0			0			0			0	
				0			0			0			0	
	支出合計(B)	6,229,000	0	6,229,000	18,405,000	0	18,405,000	89,740,000	0	89,740,000	10,352,000	0	10,352,000	
	収支 (A) - (B)	371,000	0	371,000	1,095,000	0	1,095,000	8,842,200	0	8,842,200	615,800	0	615,800	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

平成30年度 自主事業収支計画書

横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
喫茶みっかぼーず	地域	36000	地活	0	36000	0	0	36000	0
	定員なし		包括						
	200円		生活						
親子で体操 すてっぷ	未就園児親子	46812	地活	22812	24000	0	40092	0	6720
	25組		包括						
	200円		生活						
親子でリズム 1・2☆ジャンプ	園児親子	42911	地活	16511	26400	0	36751	0	6160
	20組		包括						
	200円		生活						
ママ改造計画 SASA☆GAGAスクール	地域	81921	地活	18921	63000	0	70161	0	11760
	15名		包括						
	300円		生活						
精神障害者地域交流 促進事業 てっぱん	精神障害者・地域	28940	地活	8140	20800	0	0	20000	5740
	定員なし		包括						
	100・200・400円		生活						
障害児余暇支援 親子できしゃぼぽ	障がい児小中学生親子	19200	地活	0	19200	0	3341	15299	560
	定員なし		包括						
	500円/その他		生活						
左近山ふれあい寄席	地域	45094	地活	21094	24000	0	40094	0	5000
	定員なし		包括						
	300円		生活						
ギターの調べ	地域	17818	地活	1818	16000	0	17818	0	0
	定員なし		包括						
	200円		生活						
親子であそぼう けあぶらんど	幼児・園児親子・小学生	18484	地活	18484	0	0	13364	4000	1120
	定員なし		包括						
	無料		生活						
初めての俳句	地域	40092	地活	492	39600	0	40092	0	0
	20名		包括						
	300円		生活						
まち散歩	地域	18636	地活	10636	8000	0	11136	0	7500
	20名		包括						
	200円		生活						
おおなべ大会	地域	12000	地活	7000	0	5000	0	9940	2060
	100名		包括						
	50円		生活						
ケアプラザ芸術会	地域	7000	地活	0	0	7000	0	7000	0
	定員なし		包括						
	実費		生活						
ケアプラザ祭り	地域	43000	地活	18000	0	25000	3341	37039	2620
	定員なし		包括						
	実費		生活						
ハンドメイドクラブ	地域	8000	地活	3000	5000	0	3341	4659	0
	10名		包括						
	1000円		生活						
ハロウィン パーティーツアー	未就園児・園児親子	6000	地活	1000	5000	0	0	5440	560
	20組		包括						
	200円		生活						

147908

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支計画書

横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
保育士とあそぼう	未就園児親子	0	地活	0	0	0	0	0	0
	定員なし		包括						
	無料		生活						
親子でからだをつかってあそぼう	未就園児親子	0	地活	0	0	0	0	0	0
	定員なし		包括						
	無料		生活						
ハロベビスタイル	プレ両親・乳児両親	6000	地活	4000	2000	0	3341	2099	560
	10組		包括						
	無料/300円(一家族)		生活						
小学生ケアプラザ☆ もっと知って事業 夏休み こども☆フェ ス!	子ども	14000	地活	7000	0	7000	3341	10659	0
	定員なし		包括						
	無料・一部実費		生活						
小学生ケアプラザ☆ もっと知って事業	小学生	8000	地活	5000	3000	0	3341	4659	0
	内容によって		包括						
	無料/300円		生活						
登録団体説明会	登録団体	0	地活	0	0	0	0	0	0
	50名		包括						
	—		生活						
ボランティア交流会	ボランティアの方	13000	地活	13000	0	0	0	13000	0
	60名		包括						
	—		生活						
ボランティア 年末大掃除	登録団体	1500	地活	1500	0	0	0	1500	0
	—		包括						
	—		生活						
ジュニアボランティア 夏休み体験教室	ジュニアボランティア	4000	地活	0	4000		0	4000	0
	—		包括						
	200円		生活						
合同歌声喫茶 (収支は実行委員で管 理)	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	470人		包括						
	500円		生活						
旭ふれあい区民まつり	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	定員なし		包括						
	無料		生活						
くじらまつり	地域	6480	地活	480	0	6000	0	6480	0
	80名		包括						
	50円		生活						
市沢まつり	地域	1000	地活	1000	0	0	0	1000	0
	定員なし		包括						
	無料		生活						
左近山地区地域 支えあいネットワーク 事業	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	定員なし		包括						
	無料		生活						
KTS	地域	0	地活						
	定員なし		包括						
	(200円)		生活	0	0	0	0	0	0
シネマファンカフェ	地域	2500	地活						
	定員なし		包括	2500	0	0	0	0	2500
	0		生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支計画書

横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業予算額						
	②募集人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
市沢スクエアステップ	地域	0	地活	0	0	0	0	0
	定員なし		包括					
	無料		生活					
シネマカフェ	地域	26000	地活	6000	20000	0	0	26000
	50人		包括					
	200円		生活					
ケアマネ・民生委員交流会	ケアマネジャー・民生委員	0	地活	0	0	0	0	0
	定員なし		包括					
	無料		生活					
地域包括支援連絡会	ケアマネジャー・医療関係者	7500	地活	7500	0	0	0	7500
	定員なし		包括					
	無料		生活					
認知症講演会	地域	0	地活	0	0	0	0	0
	定員なし		包括					
	無料		生活					
消費者被害防止講演会	地域	100	地活	100	0	0	0	100
	定員なし		包括					
	無料		生活					
認知症サポーター養成講座	地域	0	地活	0	0	0	0	0
	定員なし		包括					
	無料		生活					
協力医講演会	地域	0	地活	0	0	0	0	0
	50名		包括					
	無料		生活					
脳トレ教室	地域	210000	地活	0	210000	0	180000	30000
	定員なし		包括					
	2500円		生活					
笑顔の会	地域	4000	地活	4000	0	0	0	4000
	定員なし		包括					
	無料		生活					
ミュージックタウン	地域	0	地活	0	0	0	0	0
	定員なし		包括					
	無料		生活					
レコードカフェ	地域	51000	地活	1000	50000	0	0	51000
	定員なし		包括					
	200縁		生活					
ケアーズカフェ フォローアップ ／あいさつ運動	地域	0	地活	0	0	0	0	0
	定員なし		包括					
	無料		生活					
認知症予防トレーニング	地域	0	地活	0	0	0	0	0
	定員なし		包括					
	無料		生活					
楽しく体操	地域	11000	地活	11000	0	0	0	11000
	定員なし		包括					
	無料		生活					
ほっと体操	地域	0	地活	0	0	0	0	0
	10人		包括					
	無料		生活					

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支計画書

横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ケアマネ連絡会	ケアマネジャー	0	地活						
	定員なし		包括	0	0	0	0	0	
	無料		生活						
なんでも会	地域	0	地活						
	定員なし		包括	0	0	0	0	0	
	無料		生活						
健康吹き矢フォローアップ	地域	10000	地活						
	定員なし		包括	10000	0	0	10000	0	0
	無料		生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業計画書

横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
喫茶 みっかぼーず	引きこもり防止・居場所づくりにより地域で顔の見える関係を作る。ケアプラザを知り、利用して頂くきっかけづくり。 季節に合わせたお茶菓子（ボランティアの手作りの回もあり）を食べ、お茶を飲みながらの歓談や、職員による参加型レクリエーションを実施。	第1日曜日 (8・1月休み) 全10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子で体操 すてっぷ	親子の居場所づくり・仲間づくり、楽しみながら団体行動のルールを学ぶ。子育てや成長過程についての情報交換の場。 講師指導のもと、音楽に合わせてリズム体操や、様々な用具を用いバランス感覚や基本動作を養う運動を実施。	第4木曜日 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子でリズム 1・2☆ ジャンプ	園児を対象とし子どもと子育て世代のケアプラザ利用を促進する。楽しみながら団体行動のルールを学び、居場所づくり・仲間づくりを行う。親子で触れ合う運動や、お母さんのストレッチや筋トレ指導も取り入れ、リフレッシュタイムを実施。音楽に合わせたリズム運動レクリエーションを親子で楽しむ。	第3月曜日 (4月休み) 全11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママ改造計画 SASA☆GA GAスクール	子育て世代の母親の健康促進を目的に、居場所づくり、仲間づくり、リフレッシュの場として実施。 講師指導のもと、筋力トレーニングや音楽に合わせてのシンプルエアロビなどを行う。	第1・3木曜日 全21回

平成30年度 自主事業計画書

横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
精神障害者地域交流促進事業 てっぱん	精神障害をお持ちの方が居場所のひとつとして、地域ケアプラザを利用できるようにする。サロン形式で、ふれあいを持てる環境づくりを行い、自宅での閉じこもりを防ぐ。お茶飲みレクリエーションや食事会、外出プログラム等を実施。	第2木曜日 (8月休み) 全11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障害児余暇支援 親子で きしゃぽっぽ	障がいのある小学生・中学生親子の余暇支援。親子や兄弟・姉妹で参加する事で家族で過ごす余暇支援を目的とし、居場所づくり・仲間づくり・情報交換の場として実施。調理や季節イベントなどを行う室内レクや外出レクを企画し、その都度近隣小中学校へ周知し参加者を募り実施。	第3日曜日 (5・7・9・12・ 1・3月) 全6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
左近山 ふれあい寄席	ケアプラザを知り、利用して頂くきっかけづくり。引きこもりの防止や楽しみを持つことでの生きがいづくり。前半はギター伴奏に合わせ懐かしの昭和の歌をうたい、後半は落語を楽しむ2部構成で実施。	2回/年 (7・1月) 全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ギターの調べ	ケアプラザを知り、利用して頂くきっかけづくり。引きこもりの防止や楽しみを持つことでの生きがいづくり。主にギター演奏を聴き、後半はギター伴奏に合わせて歌を歌い楽しむ。	2回/年 (9・3月) 全2回

平成30年度 自主事業計画書

横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子であそぼう けあぷらんど	親子の居場所づくり、仲間づくり、親子のコミュニケーションの場。地域で活躍する子ども向けの遊びや人形劇などを行っているボランティア団体に協力を仰ぎ、フリースペースなどを実施。	第1金曜日 (4・7・9・12・3月) 全5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
初めての俳句	地域ケアプラザを知って頂くためのきっかけづくり。俳句を通じての仲間づくり。趣味を持つことで、外出の機会が増え健康づくりに役立つ。課題に合わせた句を持ち寄り、講師を含めた句会を実施。	第3木曜日 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
まち散歩	引きこもりの防止・仲間づくり・健康づくりを目的とする。旭ガイドボランティアによる、各名所由来ガイドつきウォーキングを実施。	2回/年 (10・3月) 全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おおなべ大会	ケアプラザを知って頂くためのきっかけづくり。地域の方の多世代間交流の場、ケアプラザ事業で結成されたボランティアグループの活動の場として実施。世界鍋紀行と題し、様々な国のお鍋・スープを食し楽しむ。	1回/年 (1月か2月)

平成30年度 自主事業計画書

横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ケアプラ♪ 芸術会	ケアプラザを知って頂くためのきっかけづくり。貸館利用団体のステージ発表や作品展示、地域の方に活動を知ってもらい、新規メンバー獲得につなげる。また、体験会への協力を通じた登録団体の福祉保健活動の場。各団体の活動のPRを行う。地域の方の作品展示も行い、登録団体間や地域の方との交流の場となる。	6月23日 24日 全2日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザ祭り	ケアプラザを地域へPRし、利用のきっかけづくりを目的に実施。貸館利用団体、ボランティア団体の活動・活躍の場、世代間交流の場として行う。登録団体・ボランティア団体・職員による食品屋台。子ども向けカードラリーや制作コーナー、プレイルームを設置。	11月4日 全2日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ハンドメイド クラブ	地域ケアプラザを知って頂くためのきっかけづくり。引きこもり予防、仲間づくりの場。新しい趣味を見つけ生きがいを持つきっかけづくりの場。講師を招き、手作りのアクセサリー作りを楽しむ。	1回/年 (2月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ハロウィン パーティー ツアー	未就園児・園児親子にケアプラザを知ってもらい、活用してもらうことを目的に実施。参加者同士の交流の場・情報共有の場。簡単な工作を行い、ハロウィン仕様に装飾した小型バスに乗車。地域内の商店街へ出掛け仮装行列をしながらお菓子をもらいに歩く。	1回/年 (10月)

平成30年度 自主事業計画書

横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
保育士とあそぼう	左近山保育園主催事業。子育て世代親子の交流の場、仲間づくりの場。保育士と交流することで、子育てについての情報提供や相談を行う。ケアプラザを知ってもらい、活用してもらうことを目的に実施。親子でゲームや手遊びや体を使っての遊び、手作りおもちゃの制作などを実施。	7月3日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子でからだをつかってあそぼう	左近山保育園主催事業。子育て世代親子の交流の場、仲間づくりの場。保育士と交流することで、子育てについての情報提供や相談を行う。ケアプラザを知ってもらい、活用してもらうことを目的に実施。横浜市体育協会地区担当指導の下、親子で身近な道具や体を使って運動を取り入れた遊びを実施。体の成長や能力に関する話や相談を行う。	10月2日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ハロベビスタイル	プレ両親・生後6か月までの赤ちゃんを持つ両親を対象に、講座や交流会を開催。父親の育児協力促進も目的とし、夫婦で子育てに関する情報をあらゆる分野より学ぶ。出産・育児を通しての仲間づくりの場、交流の場、情報共有の場。パパ講座卒業の講師や多分野にわたる子育て関連の講師協力のもと、実施する。同時にプレ両親と育児中の両親の交流の場を設ける。	4回/年 (11・12・1・2月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小学生ケアプラザ☆もっと知って事業 夏休み こども☆フェス!	小学生にケアプラザをもっと知ってもらう事を目的に実施。小学生の長期休暇余暇支援事業として、地域に住む未就園児から小学生までを対象としたお祭りを実施。ボランティアに協力頂き、ゲーム・遊び・制作・食などのブースを設置し、自由に楽しむ。	8月23日 全1回

平成30年度 自主事業計画書

横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
小学生ケアプラザ☆もっと知って事業	小学生にケアプラザをもっと知ってもらう事を目的に実施。登録団体や地域にお住いの講師の協力のもと、長期休暇の余暇支援として実施。	3回/年 (8・12・3月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
登録団体説明会	団体の活動目的を再認識して頂き、ケアプラザ利用方法を再確認する目的で、団体同士の交流の場として実施。団体の福祉保健活動の報告の場として活用。	1回/年 (12月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会	ケアプラザ自主事業や、デイサービスでボランティア活動をしている方々の交流の場、活動紹介の場、意見交換の場、さらなるボランティアの活動範囲を広めることを目的として実施。歓談を楽しみ、レクリエーションを行う。	1回/年 (3月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア年末大掃除	貸館利用団体の施設清掃ボランティア活動の場。施設利用方法を見直す場。他団体との交流・情報共有の場として実施。各団体より数名が参加し、3階フロアや貸出し物品・屋外周辺の清掃を自主的に行って頂く。	1回/年 (12月)

平成30年度 自主事業計画書

横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ジュニアボランティア夏休み体験教室	左近山・市沢のジュニアボランティアの小学生の交流の場。福祉関連の知識を学び、福祉体験を実施。	8月9日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
合同歌声喫茶	歌を通じての仲間づくり、健康づくりの場の提供。旭公会堂を会場にして、童謡・唱歌を参加者全員で歌う。ケアプラザの紹介や被災地訪問の様子を紹介、地域の作業所の販売を実施。	5月30日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
旭ふれあい区民まつり	旭区各地区の地域福祉保健計画の紹介とケアプラザの紹介。小学生以下の子ども向けイベントなどを実施。	10月21日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
くじらまつり	ケアプラザを知って頂くきっかけづくり。来場される地域住民や空とぶくじら社や横浜療育医療センター、放課後デイサービス等の近隣施設利用者との交流を行うことを目的として実施。 くじら社企画のストラックアウトコーナーの手伝いを行う。	1回/年 (7月)

平成30年度 自主事業計画書

横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
市沢まつり	ケアプラザを知って頂くきっかけづくり。多世代にわたる地域住民との交流を行うことを目的として実施。簡単な子ども向けゲームを実施。	1回/年 (7月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
左近山地区地域 支えあいネット ワーク事業	左近山地区地域支えあいネットワーク主催イベント。地域住民の交流、健康意識向上、健康促進、地域活性化を目的に実施。ウォーキングやグラウンドゴルフ、スタンプラリーなどを行う。	2・3回/年 (未定)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
K T S	地域住民どなたでも気軽に参加でき、お茶を飲んだり、お話できる場として開催する。普段関わりのなかった方たちが関わりを持つことができたり、人と交流することは楽しいということを知ってもらうように参加者同士が自由に話をする機会を設ける。社会参加や介護予防、見守りにもつなげていく。	1回/月 (未定)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シネマファンカフェ	映画好きな地域高齢者とサロン形式で映画について語らい楽しむ。当日は介護予防や介護保険についての説明、事業目的を伝える。話に盛り上がった映画をシネマカフェで上映する。	全2回(6月・未定)

平成30年度 自主事業計画書

横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
市沢スクエアステップ	転倒予防や認知症予防として身体と脳を鍛えて動きやすい身体を作りながら仲間も作っていく。	全22回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シネマカフェ	日頃閉じこもりがちの方が外出できる機会を作る。懐かしい映画を観て元気になっていただく。終了後のサロンでは映画について等地域の方々とコミュニケーションをとり、顔見知りになって次の外出に繋げていく。	全2回（9月・未定）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネ・民生委員交流会	民生委員と左近山、市沢を担当するケアマネージャーの顔合わせの機会を設ける。	全1回（日程未定）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域包括支援連絡会	担当地区近隣の居宅介護支援事業所のケアマネージャー同士の情報交換や、地域の医療関係者との連携を取り、ネットワーク構築を図る。	全1回（日程未定）

平成30年度 自主事業計画書

横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症講演会	認知症予防のための講演会を地域を支える協力医に依頼。地域住民に近い目線から日常生活の改善のために必要な講演をいただき、普及啓発を行う。認知症の気づきやどのようにしたら認知症を予防できるのかを症状をふまえながら説明をして頂く。	全1回（日程未定）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
消費者被害防止講演会	地域包括支援センター社会福祉士による消費者被害防止DVDを使用した住民向けの講演や、消費生活総合センターや消費生活推進員等に講師依頼をして講演会・座談会を行うことで注意喚起を行う。	全1回（日程未定）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	左近山、市沢住民に認知症の啓蒙を行う。キャラバンメイトの地域包括支援センター職員とひまわりの会・介護老人福祉施設・介護老人保健施設職員の協力を得て講習会を実施。	回数未定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
協力医講演会	左近山地域ケアプラザ協力医による、健康に関することと、これからの生活の送り方についての講演を予定。	全1回（日程未定）

平成30年度 自主事業計画書

横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
脳トレ教室	学習療法を用いた認知症予防教室。くもんが作成した1週間分の読み書き計算ドリルを週に1回、学習サポーターからの支援を受けながら、教室で実施する。残り6日間分は受講生が自宅で行う。	毎週火曜日 46回/通年 全48回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
笑顔の会	外出しながらおしゃべりをして、日頃の介護の相談やストレス発散を目的に開催。介護をしている家族、将来の介護を不安に思う方、ただ楽しみたいと参加できる場所を探している方等、対象者を限定せず普段の悩み事や不安を解消できる癒される場を作る。	3か月に1回 全4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ミュージックタウン	音楽療法を通して、認知症予防や介護ストレスの軽減を図るように努める。	第4金曜日 全11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
レコードカフェ	レコードとオーディオセットをボランティアが持参し、左近山地域ケアプラザで開催。昔懐かしい曲をレコードで聞くことができるため、その音を求めて参加される方が多くおり、男性も参加される。介護予防としてひきこもり防止の目的で開催。	第4木曜日 全11回

平成30年度 自主事業計画書

横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ケアーズカフェフォローアップ/あいさつ運動	独居高齢者や認知症を持つ地域住民の集いの場づくりの支援を行う/あいさつ運動は地域の有志による住みやすい街作りを目的としている。買い物などで通りかかる住民に挨拶をし、運動の目的を書いたチラシの配布を行う。	全17回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症予防トレーニング	地域で開催されているオープンカフェの一部の時間を利用して、認知症予防に関わる教室を行う。認知症予防を身近なものに感じることで地域で開催できるようにフォローしていく。	第2, 4土曜日 全20回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
楽しく体操	転倒予防及び認知症予防を目的として身体を動かし、閉じこもり予防として外に出る機会を作る。	第2, 第4火曜日 全18回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっと体操	元気づくりステーションでもあるほっとさこんやまでの体操教室。体操が収録されたDVDを見ながら、参加者全員で体操を行う。開催前後にはほっと左近山の1階の喫茶でお茶を楽しみ、買い物等のついでに気軽に参加できコミュニケーションを深められる機会を作る。	毎週金曜日(祝祭日 休み) 44回

平成30年度 自主事業計画書

横浜市左近山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネ連絡会	鶴ヶ峰地域ケアプラザ、白根地域ケアプラザの地域包括支援センターとの合同で3包括の担当地域で活動するケアマネジャーを対象に連絡会を開催して情報共有とお互いの研鑽を深める。	(5月、7月、9月、11月、3月開催) 全5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
なんでも会	日々の出来事を参加者に向け発表することで、認知症予防や生活を見直すきっかけにすると共に自信を持って生活することが出来るようになる。また、参加者同士がなんでも話し合うことで仲間作りを行っていく。	毎月第2木曜日 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康吹き矢 フォローアップ	腹式呼吸を使う吹き矢は健康によく、参加者で楽しみ健康のことを考えられる事業。的を狙い点数を競うことで競争心がおおられ、チーム同士でのコミュニケーションの機会や仲間意識を持つことを目指す。定期的に介護予防の認識を継続できるようにフォローアップを行う。	年1回 日程未定